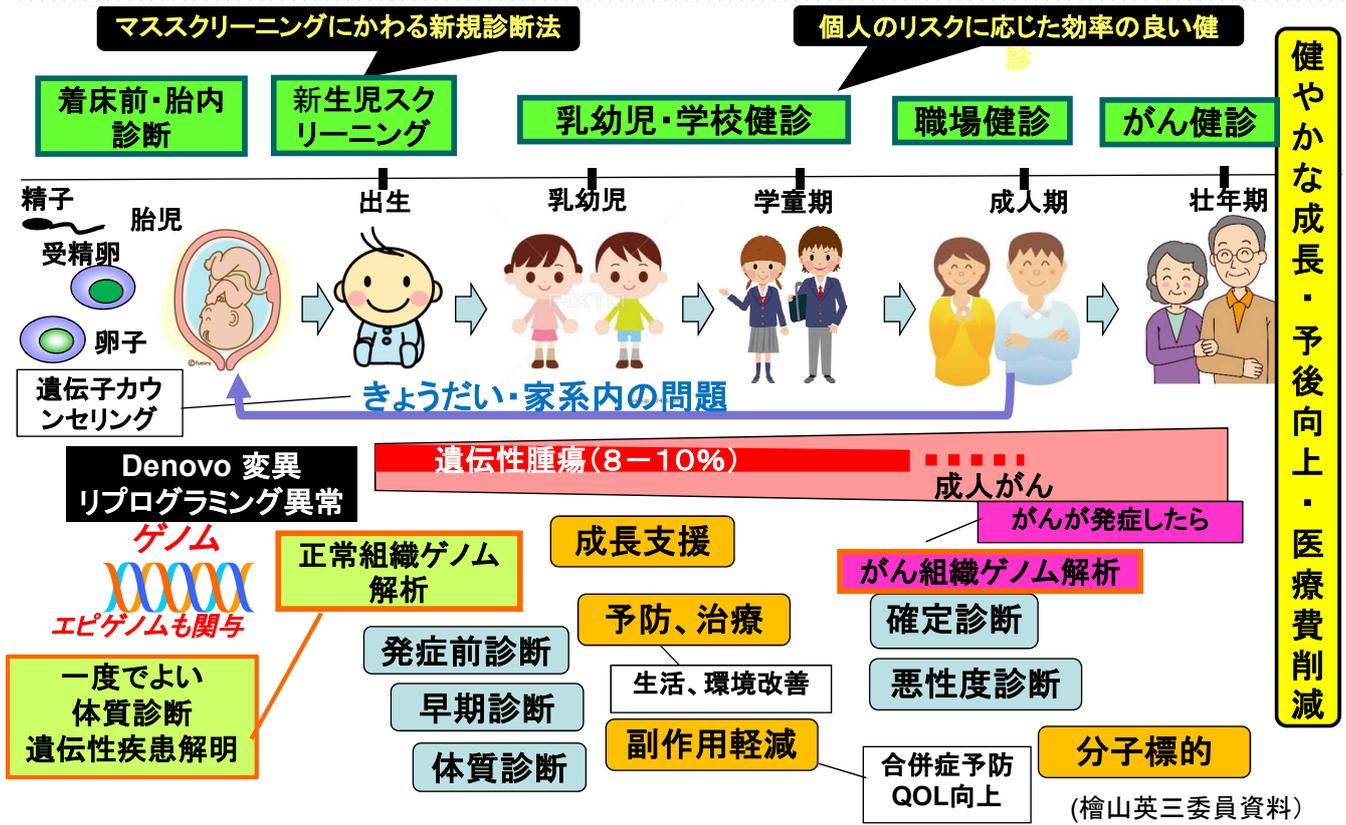


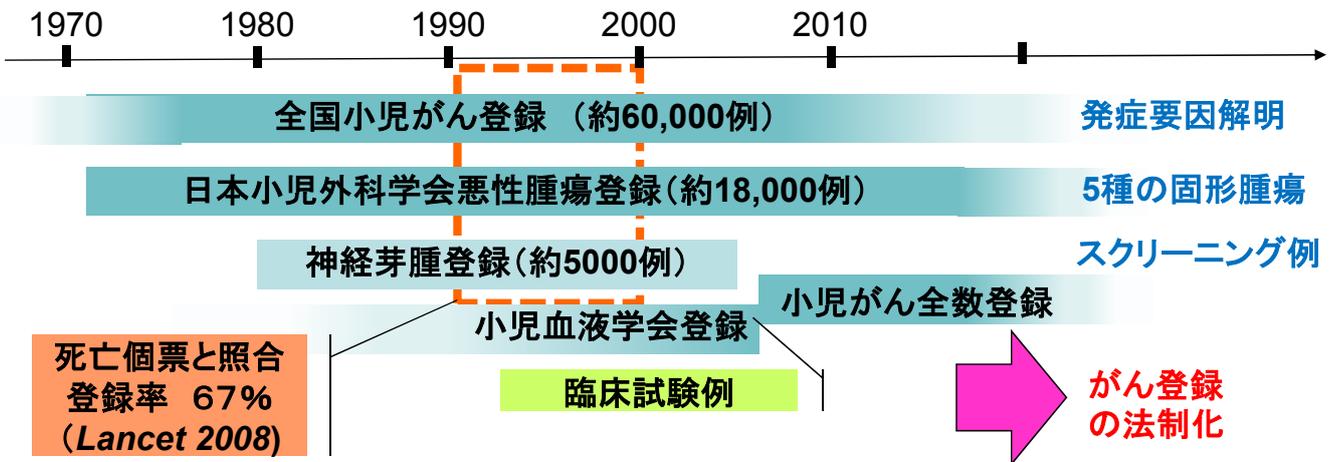
檜山委員資料:がん対策の実現への取組 (ゲノム情報からのオーダーメイド医療)

ゲノム解析は、生殖細胞の発生から胎児、新生児、小児、思春期、成人における発がんや進展の病態生理を明らかにして、がん予防・早期診断と共に個人個人にやさしいオーダーメイド療法を提供する。
 遺伝子多型・変異・欠失、染色体異常、ゲノム不活化、インプリンティング異常、リプログラミング異常など



檜山委員資料:がん登録について:小児がん登録の多重化・多様化

がん登録はがんの罹患や生存の状況等を把握する仕組みであり、我が国のがんの現状を把握し、がん対策の基礎となるデータを得るとともに、がん患者に対して適切ながん医療を提供し、また、がん予防を行うため



がん登録法制化への期待

- 小児がん(希少がん)は悉皆登録が必須 → 学会等の登録の限界があり法制化に期待
- 従来の多くの小児がん登録システムの存在:臓器がん登録との相違
→ 登録システムの簡便化と重複登録のチェックシステム
- 多くの蓄積症例 → 将来への活用と効率よく情報が収集できる登録システムの確立
- がん登録の法制化 (活用して連結するには同意が必要)
→ 既存の登録システムとの連結とがん医療への活用の検討(ゲノム医療への応用)